

Digital Motion Picture Camera VENICE 2/CineAltaV 2

バージョンアップ情報 / Release Notes / Notes de publication / Freigabemitteilung /
Note di rilascio / Notas de la versión / Заметки о выпуске / 发行通知

MPC-3628/MPC-3626

Version 4.00で更新された主な機能

カメラエクステンションシステム CBK-3621XSに対応

小型のカメラヘッドブロックを採用したCBK-3621XSの制御に対応しました。これにより、ドロップイン式NDフィルターの濃度表示や起動時の立ち上がり状況を表示できるようになりました。

新機能の導入

画面の任意の露出レベルを一目で表示できる新システム (EL Zone system) を導入しました。これにより、18%グレーを基準露出として、1ストップ刻みの露出情報を確認できるようになりました。

操作性や運用性の向上

- 複数のフレームラインを区別するために、それぞれの色を選択できるようになりました。
- 水準表示機能として、一般的な水準器の気泡と、その動きを模したデザインを選べるようになりました。
- Allファイルの読み出し時に、ネットワーク設定を除外できるようになりました。
- Log記録したProResクリップの再生時に、本体メニューのLookの設定値を適用できるようになりました。

その他の改善した機能

外部PCアプリを使用した際のASC CDLのSaturation変更設定値を、メディアにサイドカー形式で正しく記録できるようになりました。

Version 3.00で更新された主な機能

バーチャルプロダクション撮影サポート機能の追加

- In-Camera VFX用途で使うLEDウォール背景照明と実照明が混ざった環境で撮影する場合に、LEDウォールの色温度と実照明色温度の混合比率を設定することで、人肌の色再現の補正をサポートします。
- ゲンロックの位相調整時に、変更した値が即時反映されるようになりました。これにより、パネル発光に対する撮像位相の調整が容易になります。

ライブ制作における機能性拡大

- RM/RCP Paint Controlがオフ (標準モード) のときに、RM-B170などのリモートコントロールユニットから、ホワイトバランス機能およびシャッター機能の制御を行う可否を設定できるようになりました。
- RM/RCP Paint Controlがオンのときに、各種出力映像に適用するLUTとしてLookが選択できるようになりました。また、User 3D LUTも使用できるようになりました。
- Saturation、Skin Detail機能を追加しました。RM/RCP Paint Controlがオンのときに、Paintメニューで設定できます。

その他の改善した機能

- Project Frame Rateが24/25/50の場合に、33.33 FPSを設定できるようになりました。
- Project Frame Rateが23.98/24.00で、かつ可変速撮影 (Variable FPS) の60 FPSでの、ビューファインダー画面のパラパラ感やカクつき感を改善しました。
- イメージャーモードが5.8K 17:9のときの2.0xのDe-Squeeze倍率において、Zoom to Fit 2.39:1が選択できるようになりました。これにより、MPC-3628でのアナモフィックレンズを使用した撮影でも 90 FPSまでのハイフレームレート (HFR) 撮影ができるようになります。
- 各種出力映像に適用するLUTとしてLog(Legal)が選択できるようになりました。この設定により、S-Log3のデータを外部編集機器にリーガルレンジで出力できるようになります。
- ピーキング表示のオン/オフを、アサインボタンで切り換えることができるようになりました。
- Input Color SpaceにACEScctを設定した場合のMonitor出力映像やビューファインダー画面映像に適用するLUTとして、ACES 1.0 Output-Rec.709が選択できるようになりました。
- 2.2:1のアスペクトマーカを表示できるようになりました。
- MaintenanceメニューのFactory Resetを実行することで、設定値のリセットだけでなく、パスワードやUser 3D LUT等の内蔵メモリーに保存したファイルデータもリセットできるようになりました。

Version 2.10で更新された主な機能

Zoom to Fit機能の改善と追加

- Zoom to Fit 16:9で撮影された8.6K 3:2の記録画像を画枠最大に表示できるように改善しました。
- 8.6K 3:2に設定できるZoom to Fitの選択肢として2.39:1を追加しました。
- Zoom to Fit 16:9に対応するイメージャーモードを追加しました。

Version 2.01で更新された主な機能

User 3D LUTデータ使用時のメディア記録改善

User 3D LUTデータを使用してメディア記録を行う際、一定の条件下でカメラがUser 3D LUTデータを読み込めなくなる現象を改善しました。

Version 2.00で更新された 主な機能

Camera Extension System CBK-3620XS接続機能

カメラエクステンションシステムCBK-3620XSとの接続に対応しました。

- CBK-3620XSのアサインブルボタン (5 ～ 7) を設定できます。
- イメージャーブロック延長時の水準器の情報を表示できます。

8Kセンサー用イメージャーモードの 追加

以下のイメージャーモードを追加しました。

- 8.6K 17:9/8.1K 16:9
- 8.2K 2.39:1
- 5.8K 4:3
- 5.5K 2.39:1

アナモフィックレンズ用Zoom to Fit 機能

アナモフィックレンズ装着時に、17:9または16:9の画サイズで記録映像を切り出して出力することができます。ProRes記録時でも使用可能です。

ProRes 4444 XQ記録対応

Apple 4K/QFHD ProRes 4444 XQ記録に対応しました。

LUT/CDLデータの記録メディアへの 格納機能

記録時に使用したUser 3D LUTおよびASC CDLデータが、AXSメモリーカードに記録され、メタデータに格納されます。

クリップ再生時の再生位置表示とフ レームジャンプ機能

- 再生時の表示フレーム位置情報をビューファインダー・モニター画面および再生画面に表示することができます。
- 再生を一時停止しているときに、指定したフレームコマ数のステップ間隔でフレームジャンプして再生できます。

外部ゲンロック信号入力時のSync Shift機能

- 外部からのReference信号に対して、カメラの内部SYNCをシフトすることができます。外部の表示装置との撮像同期調整が可能です。
- ゲンロックがかかっている場合の信号の種別表示に、周波数およびスキャン方式を表示するようになりました。

その他便利な機能

- 記録中のタリー表示の位置を変更して、2.39:1の画サイズの記録映像表示が見やすくなりました。
- ビューファインダー画像をSDIモニターに出力できるようになり、ピーキング画像をSDIモニターで確認できます。
- カメラIDを、従来の1文字のA～Zの設定に加え、2文字のAA～ZZで設定できるようになりました。

- ピント拡大機能 (Focus Magnifier) の拡大位置を変更できるようになりました。MENUダイヤルでも拡大位置を変更可能です。
- 再生時にクリップメタ情報からEI値を読み出し、自動的に採用して再生します。
- フレームラインおよびOSDキャラクターの輝度・透明度を変更できるようになりました。

Version 1.10で更新された 主な機能

ビューファインダー動画表示の改善

可変速モード66 FPS以上のときに、ビューファインダーでの動画表示が滑らかになるように改善しました。

記録メタデータの修正

- 5.4K 16:9 (8K OHB運用) モードの有効画サイズのオフセット値のメタデータ値を修正しました。
- メタデータ量が多いレンズを接続した場合のHFR記録時に、カメラメタデータが不正値になる現象を修正しました。

Version 1.03で更新された 主な機能

ProRes再生機能の改善

一定の条件下で発生する映像の再生ノイズを改善しました。

Version 1.02*で更新された 主な機能

ProRes再生機能の改善

一定の条件下で再生がフリーズする問題を改善しました。

* 初回出荷バージョンはV1.01です。